

# 経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

香川県 香川県広域水道企業団

【事業概要】

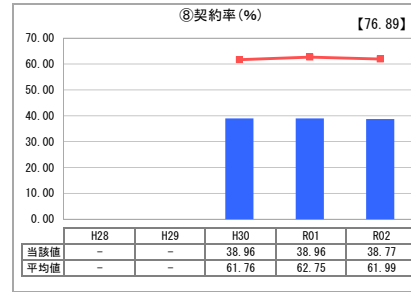
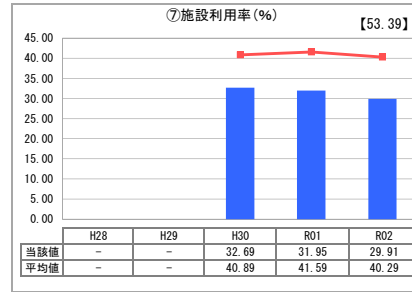
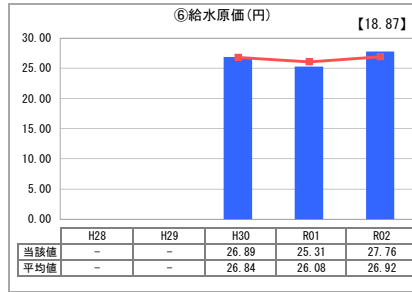
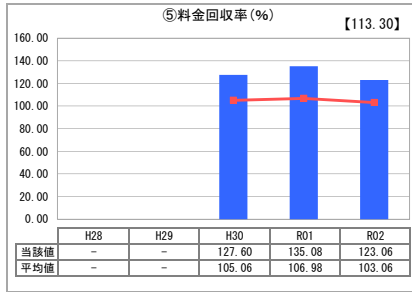
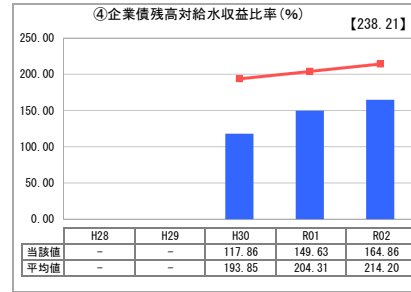
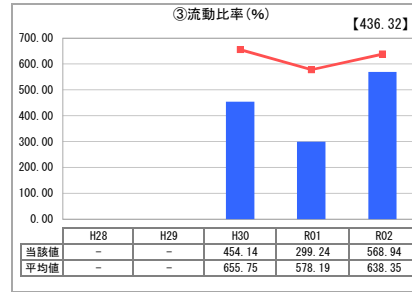
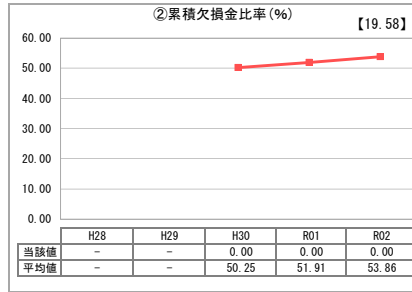
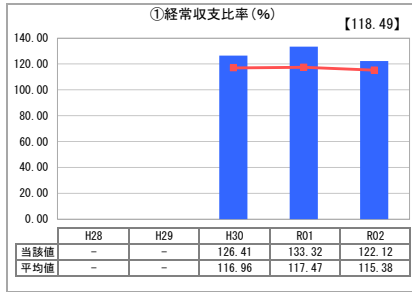
業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	150,000	中規模	1	44,868
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	72.3	40	58,156	自治体職員	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

分析欄

## 1. 経営の健全性・効率性



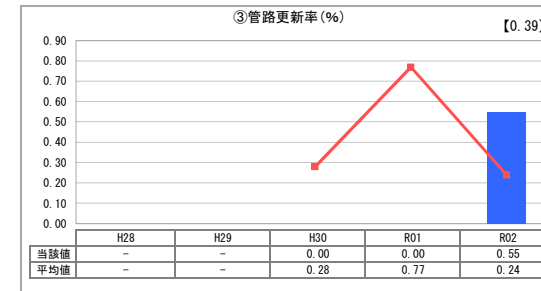
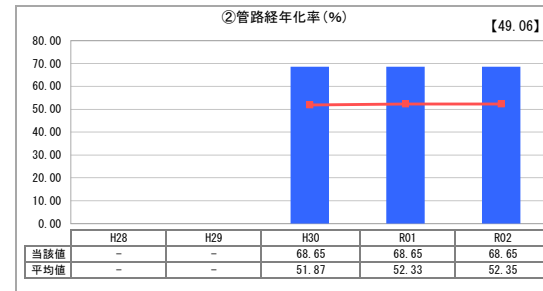
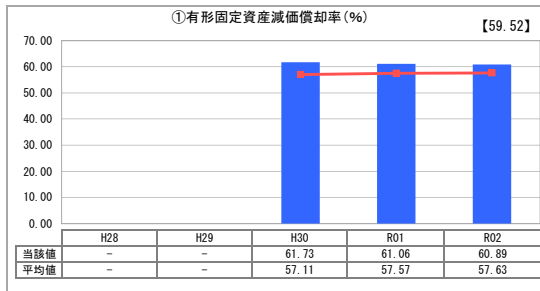
## 1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率、⑤料金回収率はともに100%を超えており、単年度収支は黒字であり給水費用は給水収益で賄われている。
- ③流動比率は類似団体平均値を下回るものの、100%を超えており、1年以内に支払う債務に対する支払能力は十分に有している。
- ④企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を下回っている。
- ⑥給水原価は類似団体平均値と大きな差はない。
- ⑦施設利用率、⑧契約率はともに類似団体平均値を下回っている。

## 2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は類似団体平均値と大きな差はない。
- ②管路経年化率、③管路更新率は類似団体平均値を上回っている。

## 2. 老朽化の状況



全体総括

令和2年度は、企業団の3か年目となる決算であり、指標を見るに、大きな課題は見受けられない。次年度以降も広域化のメリットを最大限に生かすために、業務の効率化・統一化、危機管理対策、施設の統廃合、更新・耐震化の施設整備などを着実に実施し、経営の健全化・効率化に取り組み、各種指標の推移についても留意していく。